

今月の題字



熊野東中学校1年 中野 光姫 さん



熊野東中学校2年 野間 愛莉さん



【評】学習した絵の具の技法を効果的に使用し、悲しみと希望のイメージを色や形で美しく表現しています。2枚の画用紙の間を少しあける配置や、黒い台紙に描いている絵も、作品を引き立てています。

熊野東中学校2年 渡邊 晃汰さん



【評】力強さと繊細なしなやかな線のバランスのとれた作品です。

熊野の自然 (384)
シラヤマギク (キク科)



白山菊の花が秋の訪れを告げています。熊野町では8月下旬～11月に咲きます。

キク科の仲間は、一つの花に見えるものが、実は小さな花(小花)が集まったもので、頭花と呼ばれます。

茎は直立し高さ1～1.5m。多くは赤みを帯びています。上部で枝を分け、多数の頭花をやや疎らに付けます。

頭花は直径2cmほどで、周辺に白い舌状花が並び中心に黄色の筒状花が集まっています。舌状花が5～10と少なく、等間隔に並びず不揃いに付くのが特徴です。葉も独特で花がなくてもシラヤマギクと分かります。

根生葉が大きな長めのハート形で粗い鋸歯があり、長い柄には狭い翼があります。

花時には枯れてありません。

茎に付く葉は互生します。下部の葉は、ハート形～長三角形。上部になるほど小さくなり、葉柄も短くなります。茎や葉には短毛があり、ざらざらしています。

春の若葉は食べられます。ヨメナに対して、ムコナの名が付いています。

葉の表に緑色の小さな花のような塊が付くことがあります。昆虫の産卵や寄生によってできた虫こぶです。

日本全土の山地や草原などに分布する多年草で、町の山で普通に見られます。町内では高さ1mほどのものを多く見ます。白山菊の花を探してみませんか。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー

● 仿古堂企画展

天来門書展

時9月9日(木)～28日(火)

現代書道の父 比田井天来先生。その天来先生に仿古堂が御縁をいただいた直弟子ならびに孫弟子18人の先生方の墨跡を展示。

石田栖湖	石橋犀水
稲村雲洞	井上有一
上田桑鳩	宇野雪村
大沢雅休	大沢竹胎
小川瓦木	金子鶴亭
金子卓義	桑原翠邦
手島右卿	中原一耀
比田井小琴	比田井天来
堀桂琴	吉田成堂

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭10・6・24

☎855・1123 (いふみ)

開10時～16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休水曜日・第3日曜日

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

熊野町公式アカウント
facebook
LINE
子育て支援情報アカウントこぶでりん
LINE
熊野町観光大使ふでりん 公式アカウント
facebook
熊野町観光大使ふでりん (放送終了後24時間自動消去)
082-820-5640
防災無線放送再生ダイヤル